



第29回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人



【今回のスゴイ人】
橋本 絹代さん

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらおうこのコーナー。前回のスゴイ人、徳石さんにご紹介いただいたこの方は、「元看護師で今は地元でサロンを開いているわたしの尊敬する先輩」とのことです。インタビューは、三浦恭子でお届けします。



「病院に行くほどではないけど、気になることがある人に寄り添いたい。なので、施術は午前と午後一人ずつだけ。じっくりお話を聞いてから始めます。元気な人が増えて故郷が明るくなると良いと思っています」

服薬のアドバイスやいじめ問題など様々な相談があるそうで、広い年代の方が鹿児島市や宮崎からも訪れています。橋本さんと話す時間は、なんだか保健室を思い出し、わたしもすごく癒されました。

「訪問看護は時間が決まっています、長くいると医療費がかさんでしまうんです。だけど、おしゃべりが好きな患者さんだと足りなくて『時間なので』って帰るのがとても心苦しくて」

看護師として働いている限り、その枠を超えることはできない。そんな時、東洋医学に興味を持ち始め、薬に頼らず自分の考えでじっくりと患者さんと向き合える環境をつくらうと、看護師の仕事をやめ、カウンセラーとリンパセラピストの資格を取得。現在のサロンをおとしの12月に開きました。

「訪問看護は時間が決まっています、長くいると医療費がかさんでしまうんです。だけど、おしゃべりが好きな患者さんだと足りなくて『時間なので』って帰るのがとても心苦しくて」

今回は、財部町の高塚地区でリンパマッサージのサロンをされている橋本絹代さんにお話を伺いました。高塚地区は橋本さんの故郷で中学卒業後に看護学校へ進学。京都で働いたあと「大好きな故郷に戻りたい」と旦那さんと一緒に帰ってきました。その後は訪問看護の道へ。在宅での看護を支えました。しかし、日々働く中で「このままでもいいのか」という違和感を感じるように。

卒業

協力隊の活動報告

はじまりましたね、4月。実はわたし、三浦恭子は地域おこし協力隊を任期満了にて3月いっぱい終了しました！初の卒業生です～(笑)。「地域おこし協力隊」という制度は任期が最大3年と決まっています。右の写真は3年前の着任式。わたし単体の写真はこれだけだったんです…(寝てません)。しかしあっというまの3年間でした！しかしながら、お別れではなく、4月以降も曾於市に「広報専門員」として残りますので、ほかの協力隊ともども今後ともよろしくお祈りします…！やることは引き続き「市報そお」を作ることをメインに、曾於市広報として精進していきます。まだまだ色々な場面でお会いすることもあると思いますので、今後とも何卒ますますよろしくお祈りします～！



2016年3月22日

三浦恭子